



# SGN News



第38号 2021年8月  
滋賀グリーン活動ネットワーク  
ニュース

～滋賀から「グリーン経済」をつくる～

## エネルギーからSDGsと地域経済を考える

～CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会を目指して～

### グリーン購入Webミーティング【Zoom利用】開催報告

#### プログラム

- 開会挨拶 秋山 道雄 (SGN会長)
- 講演1『なぜ、かまぼこ屋がエネルギーのことを考えたのか?』  
鈴木 悌介氏 (鈴廣かまぼこグループ 代表取締役副社長・小田原箱根商工会議所 会頭・  
一般社団法人 エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議 代表理事)
- 講演2『見せるためのSDGsからの脱却～脱炭素社会に向けた挑戦』  
大川 哲郎氏 (株式会社大川印刷 代表取締役社長)
- 質疑応答・ディスカッション  
コーディネーター: 村上 悟 (SGN理事・NPO 碧いびわ湖 代表理事)
- 会員交流会 (希望者参加)
  - A: 食からグリーン経済を考える D: 森とエネルギーを考える
  - B: プラスチックと循環経済 E: エコ通勤と人・社会・自然の健康について
  - C: 生物多様性と企業のCSR

- ◆開催日: 2021年6月2日(水)
- ◆参加者: 約100名
- ◆会員交流会参加者: 約40名



鈴木悌介氏



大川哲郎氏

SDGsの目標達成とされる2030年まで残り10年を切り、コロナ禍の中、国は2050年カーボンニュートラルの社会を目指して大きく舵を切りました。そのため、エネルギー問題とSDGsから日本と地域経済を考えました。

#### 講演1『なぜ、かまぼこ屋がエネルギーのことを考えたのか?』鈴木 悌介氏

鈴廣かまぼこは小田原の地で江戸末期に創業されました。地域と自社の元気は表裏一体であると考え、エネルギーの地産地消の仕組みを作られました。年間約300億円もの電気代が小田原市外へ流出していますが、1割でも地域の再生可能エネルギーを選べば地域で循環させるお金を増やすことが可能。地域の経済の活性化、化石燃料を減らし気候変動に対する意思表示もできる、地域における課題解決の特効薬であると教えていただきました。未来から借りている故郷をきれいにして返すのが我々の役割の1つ、という言葉が非常に印象に残りました。

#### 講演2『見せるためのSDGsからの脱却～脱炭素社会に向けた挑戦』大川 哲郎氏

大川印刷は数々の賞を受賞されていますが、これは本業を通じたCSRを推進した結果だそう。会社の「使命」「存在意義」を問い続けることが重要とのこと。2019年再生エネルギー100を達成、環境印刷を進めているが、最近ではサプライチェーン全体での排出量削減も必要であり、スコープ1、2、3についてのお話もしていただきました。SDGsへの取り組みは就職活動への影響も大きく、もはや社会貢献や環境活動に本気で取り組む企業でないと学生にも選んでもらえないそうです。ブーム化するSDGsへの警鐘やモノの背景に思いをさせ、選ぶ基準が重要とおっしゃったのがグリーン購入に通じていると感じました。

講演後のディスカッションでは、村上悟SGN理事のコーディネートで、SDGsについて「本気で取り組む」とはどういうことか、また、「会社の持続可能性」のベースには「地域の持続可能性」そして「地球の持続可能性」と全て繋がっているということや、特別なことではなく極めて日本的な考え方に通じているといったお話を伺いました。

最後のプログラムは「オンライン会員交流会」。5つあるSGNの研究会が主体となって5つのグループに分かれ、それぞれ議論していただきました。終了後のアンケート等から、どのグループも良い意見交換が出来た様子が窺えました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

### INDEX



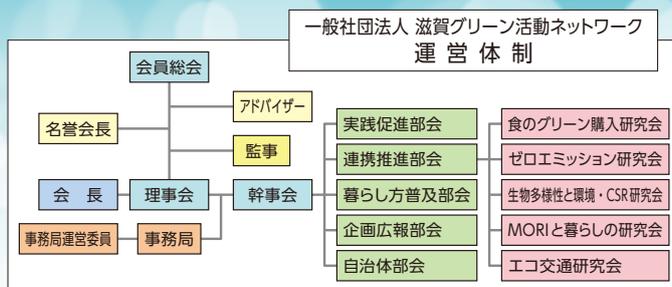
- エネルギーからSDGsと地域経済を考える  
～CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会を目指して～ …… 1
- 第5期役員紹介 …… 2  
◎会長、副会長、理事、監事、幹事
- いちおしグリーン商品リスト …… 5

- SGN会員でつながりレターク  
小林事務機株式会社 …… 6
- Mother Lake Goals について …… 6
- 新規会員からひとこと …… 7
- 編集後記 & 事務局紹介、新事務局長紹介 …… 8

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

# 第5期役員紹介

6月2日に開催した第9回定時会員総会にて  
第5期役員が決定しました。  
メッセージと共にご紹介します。



## ～ 経験の交流を～

**会長** 滋賀県立大学 名誉教授 **秋山 道雄**



6月2日の総会を経て、今年度の活動が始動し始めました。滋賀から「グリーン経済」をつくるというビジョンは継続させながら、今年度はCO<sub>2</sub>ネットゼロに焦点を当てている点が特徴です。会員の皆さんはすでにご承知のように、昨年秋に菅首相が2050年に向けCO<sub>2</sub>ネットゼロを目指すという宣言をして以来、気候変動問題への各界・各層の取り組みはさまざまなキャンペーンを見る限り、従来とは一新したのを感じさせるようになりました。

こうした動きを一時のブームに終わらせないためには息の長い取り組みを必要としますが、当ネットワークにおける会員の皆さんの取り組みはそれに対する一つの好事例を示すものとなっています。発足以来すでに20年を経過した当ネットワークは、環境配慮商品の購入を積極的に進めることを通して、環境に配慮した商品やサービスの市場を広げることを目指してきました。今では、環境配慮商品の市場はかつてと比べると相当広がっていますが、商品やサービスの購入において地道に実践を継続した結果がここに表れています。

CO<sub>2</sub>ネットゼロという課題は、これまでのグリーン購入をめぐる対象に加えてエネルギーの生産や流通、利用に関わる領域が含まれるので、どこから手をつけていったら良いか戸惑っておられる会員もおられることでしょう。それに対しては、会員の中ですでにこの領域に取り組んできた実績をお持ちのメンバーを中心に経験の広範な交流を進めていくことが意義をもつと思われま。研究会を中心に活発な活動が展開していくことを期待しています。



**副会長**  
公益財団法人  
淡海環境保全財団  
理事長

**中鹿 哲**

いよいよわが国でも、脱炭素社会への動きが本格的に始動した感があります。「滋賀県地球温暖化防止活動推進センター」を担う淡海環境保全財団では、地域資源を活用し、地域課題の解決と地域の活性化を図る、地域循環共生圏の構築を目指して様々な取り組みを推進しています。「滋賀からグリーン経済をつくる」をビジョンに掲げるSGNは、企業・団体・大学・行政など多様な主体が集う強みを活かし、今後とも、連携を図りながら、ともに自然豊かで活力のある、地域循環共生圏の構築に貢献していきたいと考えています。



**副会長**  
滋賀県立大学  
環境科学部  
教授

**高橋 卓也**

環境経営、森林政策・計画について教育研究をしております。京都議定書を締結した締約国会議COP3（1997年）の頃から企業の地球温暖化対策について追ってきました。京都議定書での日本の1990年比6%削減目標から、ついにネットゼロが前面に出る時代が来たのかと感無量です。しかし、これは温暖化問題への対応に後がないという危機感の表れでしょう。社会と自然に目配りをし、緊張感を持ちつつも、ワクワク感のある活動をみんなで作っていきましょう。

理事



株式会社 沢田商店  
代表取締役

**沢田 昌宏**

かけ声が多かったカーボンニュートラルが現実の目標となった今日、ビジネスの大きな転換期を大きな目で考えながらも、その一方で地域において、グリーン経済を動かしていこうという地道な活動はとても重要になってきます。中小企業だからできることを、滋賀グリーン活動ネットワークの活動を通じて考えてみませんか?それがビジネスを先取りすることになると思います。



日本電気硝子株式会社  
環境管理部 部長代理

**外間 喜春**

当社では、CSRの重要課題として「環境」「多様性」「地域」を設定しています。「環境」では、“自然との共生”を大切な価値観として環境に優しいモノづくりに努めています。今後も、皆さんと一緒に、価値観を共有し、これからの「滋賀グリーン活動ネットワーク」の発展に寄与していきたいと思ひます。



株式会社 平和堂  
サステナビリティ推進室 室長

**鷗鷺 真知子**

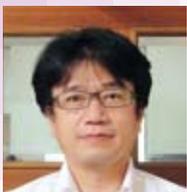
「食品ロス」・「プラスチックごみ」問題など企業活動と環境への取り組みは切り離して考える事はできません。そのため、環境に配慮した持続可能な活動は企業にとって重要な課題のひとつです。今後も、設立20周年を迎えた滋賀グリーン活動ネットワークの活動を通じて、会員団体・企業の皆様とともに様々な課題に取り組んでまいりたいと思ひます。



NPO 碧いびわ湖  
代表理事

**村上 悟**

私たちNPO碧いびわ湖では、びわ湖のせっけん運動を原点に、人々の参加と協力によって、「子どもと湖が笑ってる未来」の実現に取り組んでいます。今年からは、琵琶湖版SDGsとも呼ばれる、MLGs（マザーレイクゴールズ）の推進にも携わっています。日々の暮らしと仕事の中で、かけがえのない琵琶湖を愛する私たちの共通の想いを、具体的な姿と形にしていきたいと思います!



滋賀県  
会計管理局 次長

**辻本 誠**

滋賀県では、令和2（2020）年1月6日、全国に先駆けて、「CO<sub>2</sub>ネットゼロムーブメント」キックオフ宣言をしました。2050年までに県域からのCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにすることを目指します。県内市町や民間事業者の皆さんと共にグリーン購入の輪を広げたように、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりも皆さんと取り組んでいきたいと思ひています。どうぞよろしくお願ひします。



草津市  
環境経済部 部長

**寺田 哲康**

草津市では、令和3年度3月に「第3次草津市環境基本計画」を策定し、環境分野の側面から経済・社会の課題についても取り組み、持続可能なまちづくりの実現に向けた取り組みを進めています。滋賀グリーン活動ネットワークの強みは、皆様の熱意と産・学・公・民が柔軟に連携する組織編制だと考えております。この強みを活かしながら、環境への負荷が低減された社会の実現に向けて、皆様と力を合わせて取り組んでまいりたいと思ひます。

監事



公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ  
常務理事 兼 事務局長

**笹井 仁治**

滋賀県産業支援プラザでは、SDGsの理念を念頭に、中小企業の発展段階に応じた総合的かつ一体的な各種支援をワンストップで行っています。滋賀グリーン活動ネットワークでは『滋賀からグリーン経済をつくる』というビジョンに基き、様々な事業を展開しており、こうした取り組みが社会全体の環境負荷低減に寄与することを期待しています。



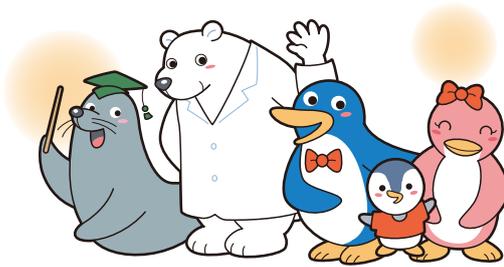
株式会社 滋賀銀行  
サステナブル戦略室 室長

**嶋崎 良伸**

滋賀銀行は、「お金の流れで地球環境を守る」との考えのもと、環境経営を早くから実践しています。昨今の気候変動や生物多様性保全等の社会的課題は、私たちだけでなく将来世代の生活や経済に大きな影響を与えています。皆さんとともに、誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。

## 幹事

幹事には、企業・各種団体・県および市町から25団体に組織としてご就任いただいています。SGN事業の企画・運営は幹事会で行っています。



### アインズ株式会社



常務取締役

谷 康夫

当社は、2017年7月に【SDGs宣言】をし、そして2021年7月には滋賀県発信の【マザーレイクゴールズ(MLGs)】へも賛同を宣言しました。世界と滋賀県の2030年に向けての事業活動を双方のアジェンダとともに実施していきます。

### 油藤商事株式会社



代表取締役

青山 裕史

脱石油・脱炭素時代のガンリンスタンドの在り方を考えるとして色々なイメージが湧いてきます。そのイメージを具現化する1つのキーワードが「グリーン」であるのは間違いないでしょう。しっかりとスローエネルギーを展開していきたいです。

### 株式会社一花



代表取締役

岩上 智佳子

「一輪の花に想いを込めて…」をコンセプトに、Flower produce ichicaとして地域貢献できる花屋を目指しています。今後ともよろしくお願いたします。

### 大阪ガス株式会社 滋賀事業所



京滋導管部 地域コミュニティー室

中村 哲

エネルギー事業者にとって環境保全は重要な使命です。当社グループはエネルギーと資源の効率的利用を推進するとともに、2050年のカーボンニュートラル実現に挑戦し、持続可能な社会の発展に貢献します。

### 株式会社滋賀原木



特販製造営業部 部長

木村 和彦

株式会社滋賀原木の木村和彦です。業務役割は、健康かつ省エネに暮らせる家づくりの推奨・木材全般から各種加工品製造・それらを営業へ繋げる企画活動です。すべてエコロジーが根ざしています。

### 新江州株式会社



エコマテリアル事業本部 営業部 副部長

久保寺 祐司

当社は段ボールをはじめ包装資材・住宅資材の製造販売を行っております。環境負荷を低減し、地球環境をまもる製品・サービスが求められるなか環境配慮に努めたモノづくりと商品の提案で地域と環境保全に貢献していきます。

### 株式会社ダイフク



サステナビリティ推進部 環境品質グループ

三好 順子

当社は、「マテリアルハンドリングシステムが環境負荷ゼロで動く世界」を目指し、今年2月に定めた「環境ビジョン2050」を推進していきます。事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### たねやグループ



社会部 総務室 リーダー

木田 幸司

コロナで価値観が良い意味でも悪い意味でも一変しました。グリーン経済を実現するためのエシカルやSDGs、官民学を問わず気運は高まっています。今こそ実践あるのみ、みんなピンチをチャンスに変えましょう。

### びわ湖パナソニックファミリー会



パナソニック株式会社LS社ハウジングシステム事業部 人事・総務センター

谷 英明

パナソニック(株)の谷と申します。学生時代から滋賀には縁があります。初配属も滋賀県で、その後、転勤を繰り返し再びこの地に帰ってきました。どうぞ、よろしくお願致します。

### びわこ放送株式会社



営業局長

松本 圭司

びわ湖放送は2022年4月開局50周年を迎えます。地域メディアとしてSDGsの推進やびわ湖の保全・活用キャンペーン等を通じて、持続可能な社会をめざしてまいります。

### 藤野商事株式会社



専務取締役

中村 明久

エネルギー分野とIT分野で事業を展開しています。個人としてSDGsカードゲーム・ボードゲームのファシリテーター資格を取得。県内の高校などで少しずつ活動を始めています。

### ベストハウスネクスト株式会社



代表取締役

吉本 智

ベストハウスネクスト(株)の吉本です。今期から幹事に就任致しました。「住環境とSDGs」や「自然エネルギーを暮らしに」等、講演も行ってありますので興味ある企業様、ご連絡くださいませ。

### リコージャパン株式会社 滋賀支社



事業管理グループ リーダー

廣岡 茂樹

リコージャパンは、SDGsを経営の中心に据えデジタルサービスを提供することで、お客様の経営課題の解決や企業価値の向上に貢献し、事業活動を通じた社会課題解決を目指しています。

### 公益財団法人淡海環境保全財団



キャリアアドバイザー

**来田 博美**

「2050年CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現」に向けて、SGN会員のネットワークを活かし、連携して、滋賀県民がムーブメントを起こせるような活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### グリーン近江農業協同組合



管理部 総務課 課長

**福田 真由美**

わたしたちはSDGsを視点に「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として「持続可能な農業」を支え、「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現に向けた取り組みを展開します。

### 滋賀県生活協同組合連合会



専務理事

**藤田 豊**

「滋賀からグリーン経済をつくる」消費者の立場から“買う責任”と“使う責任”、コロナ禍においてもふだんの暮らしの中で目覚めて、環境にやさしい、負荷をかけないで軽減していくことを学び、つながり、伝えあっていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 滋賀県地域女性団体連合会



副会長

**井上 多佳子**

環境にこだわる滋賀県の社会教育関係団体として学習・活動を重ねています。石けんをキッカケに、持続可能な未来につながる消費行動を地域に広げ、SGNの活動を盛り上げていきたいと思っております。

### 滋賀県立大学廃棄物バスターズ



代表

**岩井 柊太**

当団体は一昨年幹事に就任しました。今年度は、彦根キレイ隊との彦根市清掃活動、BBC他企業と共同で清掃活動およびごみの分類調査等を実施。現在は、廃プラを原料にしたリサイクル雨水タンク作製技術の確立と琵琶湖のマイクロプラスチック回収調査を目指して活動を進めています。

### 循環型社会創造研究所えこら



代表

**藤田 アニコー**

グリーン購入やエシカル行動はもう当たり前!という世界は後少して成り立つと信じて、活動を続けてまいります!日本の生活には昔からの日本文化が教えてくれるヒントは一番ですが、海外の様々な取り組みも参考にしながら、未来を造っていかばと思っています。Make that Change! 変化は自分から!

### 輪の国びわ湖推進協議会



運営委員

**南村 多津恵**

滋賀県のCO<sub>2</sub>排出の21.0%は運輸から、うち91.3%が自動車によります。EV車乗り換えでは追い付かず、CO<sub>2</sub>ネットゼロに事業での車利用削減は急務。エコ交通研究会として皆様と一緒に取り組みます。

### 滋賀県



会計管理局 管理課 主幹

**三井 都史子**

滋賀県がグリーン購入実践プラン滋賀登録制度を始めて16年。事業者の皆様の環境意識の高さを尊敬しています。CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会作りにも一緒に取り組みましょう。よろしくお願いいたします。

### 大津市



環境部 環境政策課 課長

**高木 裕司**

大津市では、ISO14001に代わる市独自の環境マネジメントシステムを運用し、環境負荷低減のための取り組みを全庁挙げて推進しているところです。今後も引き続きグリーン活動を進めてまいります。

### 彦根市



市民環境部 生活環境課 課長

**中江 淳展**

彦根市では平成27年度から公共施設において、独自の環境マネジメントシステムを導入することで、全職員で環境負荷低減に取り組んでおります。今後も環境に配慮した事務事業を推進してまいります。

### 野洲市



環境経済部 環境課 課長

**中原 正隆**

滋賀グリーン活動ネットワークの活動に触れるにつれ、旬の地元食材を選んだり、繰り返し使える商品を選ぶなど、グリーン購入に努めるようになってきました。今後ともよろしくお願いいたします。

### 日野町



総務課 課長

**澤村 栄治**

日野町では、滋賀県内の間伐材から作られたコピー用紙を障害者就労施設を通じて購入するなど、環境・福祉に配慮した物品調達を行っています。今後もグリーン活動を進めて参ります。

## 滋賀グリーン活動ネットワーク会員発

# 「いちおしグリーン商品リスト」

ただいま  
Ver.22  
掲載中!

会員お薦めの環境に配慮した製品・サービスが掲載されたリストです。巻頭企画にて「新型コロナウイルス対策」「買うエコ大賞」受賞商品、「食品」「日用雑貨」「文具」「OA機器」「冷熱・給湯」「照明関連設備」「衣類」「家具・寝具」「住宅・設備」「園芸」「金融」「建設工事」「サービス」盛りだくさんの滋賀県の環境にやさしい商品が一目でわかります。グリーン購入の実践にお役立てください。情報は随時募集しています!



Relay  
Talk

SGN会員でつなぐ

リレートーク>>>

小林事務機株式会社  
ISO環境管理責任者 井垣 達夫



1924年創業の当社は、小林事務機株式会社として、1969年6月4日、“無死”を願って設立され、現在、東近江本社、草津支店、彦根営業所、大津営業所、長浜営業所と五つの拠点で滋賀県を中心に販売活動を行っています。

活気あふれる「コミュ・オフィス」「3D Commu」の提案を掲げ、働き方改革と組織の活性化を推進しております。「3D Commu」とは、「Direct Commu」活発なコミュニケーションを実現する空間創造のお手伝い、「Document Commu」“紙”を媒体としたコミュニケーションの活発化やデジタル化を支援する機器やシステムのご提案、「Digital Commu」グループウェアやテレビ会議システム等のデジタルコミュニケーションシステムをはじめ、システム全般のご提案の事を言います。

当社が、明確に環境に携わり始めたのは、2001年「滋賀グリーン購入ネットワーク（現：滋賀グリーン活動ネットワーク）」が立ち上がった頃で、七項目にわたる環境方針を現代表取締役である小林弘和が制定し、環境マネジメントシステムを構築、2002年8月にISO14001の認証を取得しました。当初は、社内の紙の使用量や電気使用量を月単位に管理し、無駄な使用がないかの確認やエコ商品を優先的に使用するなど、社内の環境管理推進委員会を中心に、削減目標を決め、PDCAを回し、CO<sub>2</sub>削減に取り組んでまいりました。一定目標を達成した後は、当社の得意分野である環境に配慮した商品であるリコー複合機「IMCシリーズ」や印刷機「リソグラフ」、高速のインクジェットプリンター「オルフィス」など使用電力の低い商品をご導入いただくことで、CO<sub>2</sub>削減に貢献しよう、という新たな目標に変え、今に至ります。

当社の環境への取り組みは、ISO14001認証取得だけでなくとどまらず、地域への感謝として毎月10日を『ありがとう10（とう）の日』と定め、本社・草津支店の周辺の清掃を『ありがとう清掃活動』として行っております。

また2009年からは、「びわこ地球市民の森」様にて、植樹をスタートし、現在育樹活動を年1回実施しております。近年は、「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」様とのご縁で2018年より、年に1度「ヨシ刈り」に参加し、微力ながらびわ湖の水質保全に力を注いでおります。2019年にはSDGs宣言をし、このような活動を明確化しました。

2024年に、創業100年を迎えますので、これからもSDGsに沿いながら地域になくなくてはならない会社を目指し、日々努力してまいります。

今回は、リコージャパン株式会社滋賀支社さんにお願います。



小林事務機株式会社

滋賀県東近江市幸町2-28  
TEL：0748-23-2233 FAX：0748-23-2241  
<https://www.kbm.co.jp>



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

“琵琶湖版SDGs”  
「マザーレイクゴールズ(MLGs)」  
7月1日「びわ湖の日  
制定40周年」始動!

マザーレイクゴールズ（Mother Lake Goals, 略称「MLGs」）は、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会へ向けた目標（ゴール）です。MLGsは、琵琶湖版のSDGsとして、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、琵琶湖を切り口として独自に13のゴールを設定しています。滋賀グリーン活動ネットワークもMLGsに賛同しています。

# 新規会員からひとこと

2020年7月31日から  
2021年5月10日までの入会者  
(団体名の50音順)



## 株式会社アイ・イー・ジェー

取締役営業部長 奥野 徹

吸水性ポリマー、ウレタン樹脂の応用を得意とし、様々な方面のお客様との企画・開発に取り組んでおり、安全性や環境にも配慮した「ものづくり」を信条としています。



## FEC自給圏ネットワーク

世話人代表 ディーガン 美佐子

Food食、Energyエネルギー、Careケアの自給・自立した暮らしや地域づくりを目指すネットワークです。共に、脱炭素社会を構築していきましょう。



## おおつ交通まちづくり推進会

畑中 則宏

公共交通利用促進・駅前活性化をめざし3年前より活動しています。今まで交通まちづくりの講演会・カフェ、路線バスを使った散策イベントを実施。今後、利用促進提言等も行っています。



## 株式会社大林建設

代表取締役 大林 真士

株式会社大林建設は総合建設業として、全従業員に環境教育を推進し、環境保全のための取り組みとして、建設副産物を再利用する等、資源の有効利用を心掛けています。



## 株式会社サンファミリー

常務取締役 土田 博士

滋賀県・岐阜県で人材総合サービス事業を展開しております。地球環境に配慮し、自然と産業の共存を目指し、お客様から信頼される総合人材企業を目指しています。



## 株式会社谷口土木

代表取締役 谷口 陽一

当社は、湖南地域を中心に土木工事、水道施設工事、舗装工事を事業展開しており、各現場では、低騒音・振動型重機や排ガス規制適合車両の100%使用に取り組んでおります。



## 株式会社東洋石創

専務取締役 和久 賢二

弊社は建築用石材等の景観を作る素材を販売しております。その為にかつてより環境問題には大変関心を持っておりまして、5年ほど前に新たに物流センターを作る際に「環境に負荷を与えない施設」をテーマに「雨水を施設敷地外に流出させない。」等の取組を行ってきました。SGNに参加しさらに色々な環境問題に取り組んでまいります。



## 鳥羽建設株式会社

専務取締役 菊井 研二

弊社では橋梁修繕工事を通じて、安全で美しい環境づくりを目指しております。ご指導を賜りますよう、宜しくお願い致します。



## トヨタカローラ滋賀株式会社

代表取締役社長 岩城 正憲

当社は県下17店舗にてトヨタ系新車・中古車販売および車検整備を行っております。カーボンニュートラル実現に向けて積極的にEV・HV車の普及啓蒙に関わっていきます。



## 株式会社ナックウェブ

代表取締役 村元 直樹

「長期的利益をお客様とともに」を経営理念に、中小企業のWEB制作をお手伝いしています。環境問題とどう向き合うかは重要な経営課題と考え、入会させていただきました。



## 花文造園土木株式会社

代表取締役 山村 文志郎

安全・安心な水環境の確保は、琵琶湖環境の再生にもつながり「持続可能な社会の実現」に向けて、たいへん有効です。グリーンインフラ時代にらんだ新たな挑戦をしております。



## 特定非営利活動法人琵琶故知新

理事長 脇田 健一

地域を循環する「びわぼいんと」をもとに、琵琶湖の環境活動に関わる人たちをつなぎ、環境問題を「自分事」と捉えて行動する人を増やすことを目指しています。



## 株式会社古澤建設

工事部長 西岡 健

私達は舗装工事を中心に土木工事業を行っています。持続可能な社会づくりに貢献できるよう、環境に配慮した取り組みをしていきます。



## 株式会社松居土木

代表取締役 松居 悟

湖北地域を中心に土木工事業を営んでおります。自然と共存・共栄しながら廃棄物「ゼロ」を目指し「ICT機器による作業高率の向上によりCO<sub>2</sub>排出量削減」「ハイブリッド、低騒音・低振動型建機による環境に配慮した稼働」等、継続的な環境負荷の低減に社員一同取り組んでおります。



**株式会社三峰環境サービス**

企画・広報担当 三峰 教代

廃棄物処理業者として、廃棄物処理のかかる環境負荷軽減のための取り組みを強化していくと共に、顧客へのサービスの提供を通じて地域のグリーン活動にも貢献していきたいです。



**株式会社向茂組**

代表取締役 向 春美

当社は東近江市で総合建設業を営んでおります。環境に配慮した土木工事を心掛けており、これからも自然と共存するまちづくりに取り組んで参ります。



**株式会社レッドペンギン**

代表取締役 風呂井 仁

起業5年目のシステム開発会社です。環境保全を意識した仕組みで、当たり前「グリーン経済」に貢献できる、を目指しています。ご助言お願いいたします。



**一般社団法人ワンダフルライフ**

代表理事 野矢 貴之

学び・体験・チャレンジをする多様な機会を提供し、マチ・ヒトに投資する地域商社を目指します。起こせヒノベーション(Hino+Innovation)!

**現会員数：473 団体 [企業 387、団体 65、行政 21] (2021年8月1日現在)**

はじめまして!エコペンです。  
2006年に滋賀県で生まれたんだ。  
好きな言葉は『グリーン購入』。  
『作る人』『売る人』『買う人』  
みんなで取り組んで、自分たちの未来は、  
自分たちで選ぼう!!



SGNロゴマークやエコペン等キャラクターをご活用ください! 名刺・ホームページ・会社案内・CSRレポート等、様々なシーンでご活用いただけます。

※申請が必要です。詳しくはSGNホームページをご覧ください。



**編集後記 & 事務局紹介**

新型コロナウイルス感染症のため、新しい生活様式へと移行した2020年。今まで対面で行っていた研修会やセミナーもオンライン開催へと大きく変化しました。ただ、会場まで足を運ばなくても良いので新たな層が参加して下さる、講師の先生方の拘束時間も短くて済む、離れた場所の方々と繋がる、良いこともたくさんあり、こんな時代だからこそ出来る事が多くあるのだと気付かされた一年でした。その間に国は2050年カーボンニュートラルの社会を目指して動き出し、滋賀県は「CO<sub>2</sub>ネットゼロムーブメント」キックオフ宣言をし、7月1日「琵琶湖版SDGs」であるMLDsの取り組みがスタートしました。事務局も新体制となり、今後もより一層会員の皆さまと共に頑張ってまいります。

事務局は滋賀県大津合同庁舎6階に位置しています。四季折々の鳥のさえずりもよく聞こえます。グリーン購入の取り組み方、環境配慮商品のPR方法、県内事業者のCSR活動に関するお問い合わせ、様々な啓発資料の貸出し等、随時ご対応いたします。お気軽にお立ち寄りください。



後列左より大塚、竹ヶ原、前列左より鶴田、太田

各種啓発パネルや啓発ツール、キャラクター「エコペン」パネルやのぼり等会員限定で貸出しています。



※これらは一例です。 エシカルすごろく

**事務局長紹介**

レジ袋有料化から1年、消費者の行動が大きく変わりました。環境省によると、レジ袋の辞退率はコンビニが2割から7割台半ばに、スーパーは6割から8割に上昇とのことです。2050年「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現」に向けて、CO<sub>2</sub>削減を含む環境配慮を考えていくことは、これまで以上に重要となります。SGN会員相互の関わり合いを育みながら、グリーン購入をはじめとする環境配慮行動の促進に共に取り組みます。



事務局長 小川 長利



編集・発行 / 一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階

TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586

Eメール:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:https://www.shigagpn.gr.jp/

